NEWアダージオR

変額個人年金保険Ⅱ型2003

＜20年運用コース＞

特別勘定の月次運用レポート
2025年5月末現在

○市場概況
○特別勘定の運用状況
○組入投資信託の運用レポート

お客さまが負うことになる投資のリスクについて

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や積立金額・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、積立金額、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

変額個人年金保険に含まれる手数料などについて

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
＊この商品にかかる費用は、以下の「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。
●保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、積立金額に対して年率2.37%の割合で積立金額から毎日控除されます。
●運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.463%（税抜1.33%）程度の割合で信託財産から毎日控除されます。上記の信託報酬に加えて、信託事務に要する諸費用、有価証券の売買手数料および消費税等の諸経費がかかります。なお、これら運用関係費用は、各投資信託の組入比率や運用状況によって異なりますので、具体的な金額や計算方法を記載しておりません。また運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。
●年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して１%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約控除：ご契約日および増額日からその日を含めて７年未満の解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の７%～1%の割合で解約日の積立金額または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。
！詳しくは、商品パンフレット、「特に重要なお知らせ/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

(管)ORI-093

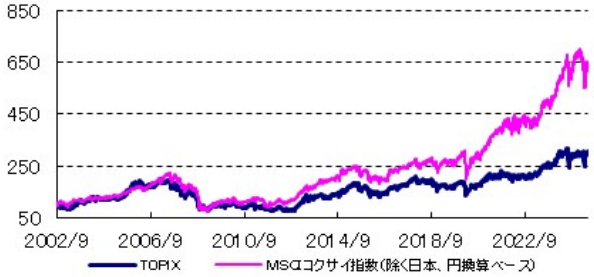
作成基準日　2025年5月末

市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	5.33%	2.18%	▲ 0.64%	▲ 1.36%	39.17%
	TOPIX（東証株価指数）	5.03%	4.45%	4.51%	1.05%	46.47%
日本債券	NOMURA－BPI総合	▲ 1.29%	▲ 1.68%	▲ 3.16%	▲ 2.76%	▲ 8.66%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	6.92%	▲ 1.65%	▲ 3.11%	3.77%	54.61%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	0.99%	▲ 0.12%	▲ 1.27%	▲ 1.39%	15.86%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.91%	▲ 3.88%	▲ 4.56%	▲ 8.21%	12.21%

日経平均株価(円)の推移

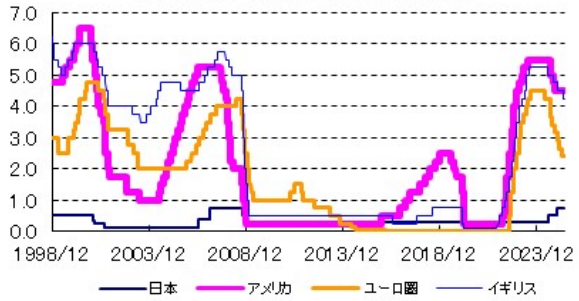
日本と外国の株式市場パフォーマンス推移



＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移

先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移

全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定（ファンド）グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計
	株　式		債　券				投資信託	現預金その他	（百万円）
	日本	外国	日本	外国					
日本株式グロースファンド FIE	●				フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5＊	フィデリティ投信株式会社	97.0%	3.0%	1,975
日本株式インデックスファンド225 SG	●				りそな・日経225オープンVA＊	アムンディ・ジャパン株式会社	97.2%	2.8%	1
世界株式ファンド FIE	●	●			フィデリティ・グローバル・ファンドVA5＊	フィデリティ投信株式会社	97.1%	2.9%	232
世界債券ファンド KA			●	●	グローバル・ソブリン・オープン　VA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.5%	2.5%	448
マネーファンド MC　※1			●		フィデリティ・マネー・プールVA＊	フィデリティ投信株式会社	0.0%	100.0%	9

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5＊	成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行います。
りそな・日経225オープンVA＊	日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果を目指します。
フィデリティ・グローバル・ファンドVA5＊	市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド（円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
グローバル・ソブリン・オープン　VA＊	主に世界主要国のソブリン債券に分散投資し、FTSE世界国債インデックス(含む日本、円ベース)を中長期的に上回る投資成果をあげることを目指します。
フィデリティ・マネー・プールVA＊	主に本邦通貨表示の公社債等に投資します。運用にあたっては、基準価額の安定と流動性の確保に最大限留意します。日本国内政府あるいは高格付け企業が発行する公社債等に投資し、金利変化やその他の市場要因からの感応度を低く抑えて、高い安全性を維持します。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

※1　特別勘定「マネーファンドMC」の運用状況について
　日本銀行によるマイナス金利導入を背景とする金利低下を受けまして、当特別勘定が主に投資する投資信託「フィデリティ・マネー・プールVA*」において、安定的にプラスの収益を確保することが困難な状況となっております。
　この状況を踏まえまして、一時的に投資信託の組入れを中止することを決定致しました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
　したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式グロースファンド FIE

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	5.17%	6.18%	3.84%	−1.64%	28.24%	114.84%

日本株式インデックスファンド225 SG

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	4.95%	2.30%	−0.82%	−2.02%	33.79%	123.32%

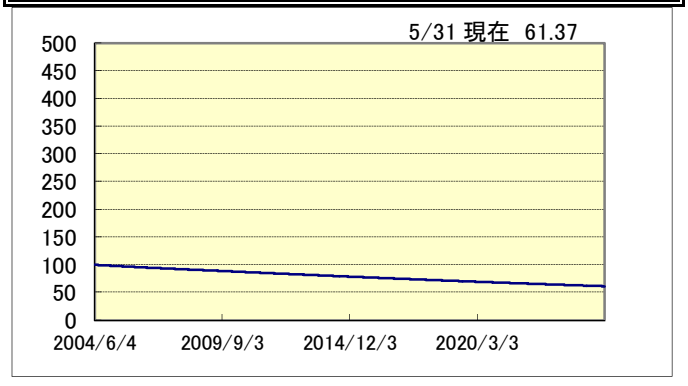
世界株式ファンド FIE

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	10.07%	0.66%	0.38%	3.36%	45.62%	355.83%

世界債券ファンド KA

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.02%	−1.17%	−3.01%	−6.08%	1.04%	6.83%

マネーファンド MC



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−0.19%	−0.59%	−1.17%	−2.34%	−6.86%	−38.63%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式グロースファンド FIE

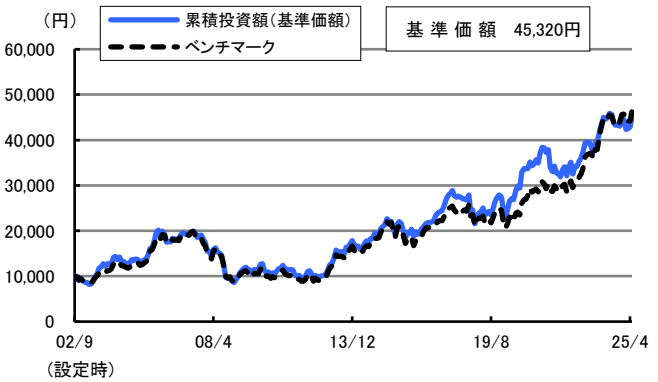
【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5（適格機関投資家専用）

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

主要投資対象
日本の上場株式。主にフィデリティ・日本成長株・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。

設定来の運用実績　（2025年5月30日現在）



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン　（2025年5月30日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	5.56%	7.02%	5.25%	0.74%	38.70%	353.20%
ベンチマーク	5.10%	5.69%	5.92%	3.58%	57.85%	364.73%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：TOPIX（配当込）
＊TOPIX（配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。
＊東証株価指数（TOPIX）（以下「TOPIX」という。）の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

第 19期(2020.11.30)	0円
第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円
第 22期(2023.11.30)	0円
第 23期(2024.12.02)	0円

純資産総額	19.2 億円	（2025年5月30日現在）

コメント　（2025年5月30日現在）

当月の東京株式市場は、トランプ政権の関税政策に対する警戒感が和らいだことを背景に、前月に続き上昇しました。
米国が英国と貿易協定を締結し、中国とは相互追加関税の引き下げに合意するなど、米関税政策が緩和方向に進展するとの期待が高まったことに加え、日米の金融政策が現状維持となったことや、主要企業の2024年度決算発表で自社株買いの設定が相次いだことも押し上げ要因となり、日本株は月半ばまで堅調に推移しました。その後は、米国債の格下げによる財政悪化懸念から米長期金利が上昇し、円高・ドル安が進行したことや、利益確定売りが重なり上値を抑えられる展開となりました。しかし為替が円安に転じたことや、米国が欧州連合（EU）に対する追加関税の発動を延期したことを受けて株価は再び上昇すると、米国際貿易裁判所がトランプ関税の大部分を違法と判断したことや、米半導体大手の好決算なども支援材料となって上値を広げました。ただし、米連邦巡回区控訴裁判所が米国際貿易裁判所の判決執行を一時的に停止する判断を下したことから、最終日は反落し、月の上昇幅をやや縮めて月を終えました。
月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が＋5.10%、日経平均株価は＋5.33%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

組入上位10銘柄（マザーファンド・ベース）　（2025年4月30日現在）

	銘 柄	業 種	比率
1	ｿﾆｰｸﾞﾙｰﾌﾟ	電気機器	5.0%
2	三菱UFJﾌｨﾅﾝｼｬﾙ・ｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	4.4%
3	日立製作所	電気機器	4.2%
4	豊田自動織機	輸送用機器	3.5%
5	三井住友ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	3.3%
6	東京海上ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	保険業	3.0%
7	ｷｰｴﾝｽ	電気機器	2.7%
8	ﾄﾖﾀ自動車	輸送用機器	2.7%
9	伊藤忠商事	卸売業	2.7%
10	ﾘｸﾙｰﾄﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	サービス業	2.4%

（ 組入銘柄数 ： 167 ）　上位10銘柄合計　34.1%
（対純資産総額比率）

ポートフォリオの状況（マザーファンド・ベース）　（2025年4月30日現在）

資産別組入状況

株式	97.9%
新株予約権証券（ﾜﾗﾝﾄ）	－
投資信託・投資証券	－
現金・その他	2.1%

市場別組入状況

東証プライム	96.1%
東証スタンダード	1.4%
東証グロース	0.4%
その他市場	－

組入上位5業種

電気機器	20.0%
銀行業	9.6%
輸送用機器	8.7%
小売業	6.9%
卸売業	5.4%

（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種は東証33業種に準じて表示しています。
＊未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式インデックスファンド225 SG

【特別勘定が投資する投資信託】
りそな・日経225オープンVA（適格機関投資家専用）

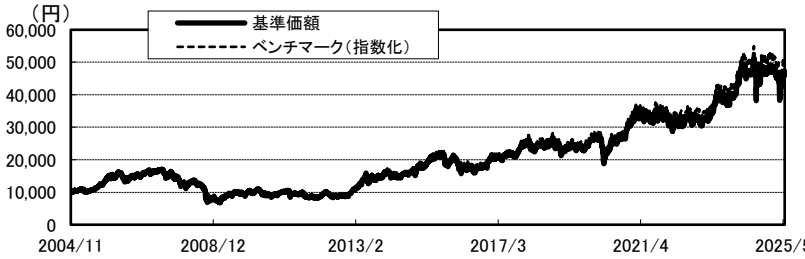
【運用会社】
アムンディ・ジャパン株式会社

主要投資対象
主として「アムンディ・日経225オープンマザーファンド」受益証券への投資を通じて、東京証券取引所上場株式に実質的に投資を行います。

運 用 方 針
日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果を目指します。日経平均トータルリターン・インデックス採用銘柄（225銘柄）の中から、原則として200銘柄以上に投資を行います。株式の組入比率は原則として高位に保ち、運用の効率化を図るため株価指数先物取引等を併用することがあります。

運用実績　（基準日:2025年5月30日）

基準価額とベンチマークの推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。ベンチマークは日経平均トータルリターン・インデックスです。
設定時を10,000として指数化しております。
※2023年12月12日に、当ファンドのベンチマークを「日経平均株価」から「日経平均トータルリターン・インデックス」に変更しました。

ファンドデータ

基準価額	46,735円

※分配金控除後

純資産総額	2百万円

組入銘柄数	225銘柄

※マザーファンドの組入銘柄数

騰落率の推移

期間	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	5.33%	5.33%
3ヵ月	2.98%	3.04%
6ヵ月	0.26%	0.39%
1年	0.22%	0.55%
2年	26.78%	27.62%
3年	46.19%	47.87%
設定来	367.35%	402.27%

信託財産の内容　（基準日:2025年5月30日）

市場別構成比

市場区分	比率
東証プライム	97.0%
東証スタンダード	0.0%
東証グロース	0.0%
その他市場	0.0%
株式先物	3.0%
合計*	100.0%

＊株式の投資総額と株価指数先物取引等の買建玉の投資総額の合計額は、信託財産の純資産総額の110%を超えないものとします。
・比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率。

業種別構成比

業種区分	比率
電気機器	23.8%
小売業	12.9%
情報・通信業	12.2%
医薬品	5.7%
化学	5.6%
サービス業	4.7%
機械	4.5%
輸送用機器	4.0%
精密機器	3.4%
卸売業	3.3%

・業種は東証33業種分類による。
・比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率。

分配金

決算期/年月日		分配金（円）
15期	2019/7/11	0
16期	2020/7/13	0
17期	2021/7/12	0
18期	2022/7/11	0
19期	2023/7/11	0
20期	2024/7/11	0

・分配金は、税引前1万口あたり。

組入上位10銘柄　（基準日:2025年5月30日）

	銘柄名	業種	比率
1	ファーストリテイリング	小売業	9.9%
2	東京エレクトロン	電気機器	5.9%
3	アドバンテスト	電気機器	5.0%
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	3.9%
5	KDDI	情報・通信業	2.5%
6	リクルートホールディングス	サービス業	2.2%
7	TDK	電気機器	2.0%
8	信越化学工業	化学	2.0%
9	中外製薬	医薬品	1.9%
10	テルモ	精密機器	1.8%

・業種は東証33業種分類による。
・比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率。

5月の株式市況動向

5月の国内株式市場は上昇しました。国内株式市場は月初に日米の政策金利が据え置かれたことを好感し底堅く推移しました。さらに米国と中国の100%を超える水準にあった追加関税率を米中双方とも大幅に引き下げることに合意したとの発表を受け、一段高となりました。その後、米国国債の格下げを受けて米ドル安・円高が進行したことを嫌気し上値の重い展開となりましたが、米国のハイテク株の上昇に連れて国内株式市場も上昇に転じ、強含みの地合いのまま月末を迎えました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

作成基準日　2025年5月末

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界株式ファンド FIE

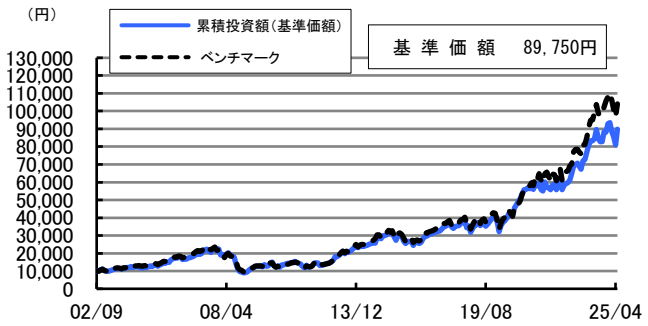
【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・グローバル・ファンドVA5（適格機関投資家専用）

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式。主にフィデリティ・グローバル・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド（円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

設定来の運用実績　（2025年5月30日現在）



（設定時）

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン　（2025年5月30日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	10.80%	1.42%	1.76%	6.43%	58.30%	797.50%
ベンチマーク	7.22%	−2.07%	−1.55%	4.87%	64.98%	940.54%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：MSCIワールド・インデックス（税引前配当金込／円ベース）
＊ MSCI ワールド・インデックスとは、MSCI Inc.が算出する、世界主要国の株式市場の動きを示す指数です。MSCI ワールド・インデックスに関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。
＊MSCI ワールド・インデックス(税引前配当金込/円ベース)は、WM Reutersが発表する換算レートをもとに委託会社が算出しています。

過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

第 19期(2020.11.30)	0円
第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円
第 22期(2023.11.30)	0円
第 23期(2024.12.02)	0円

コメント　（2025年5月30日現在）

世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で+6.00%。
【米国株式】月間騰落率は、S&P500種指数が+6.15%、ダウ工業株30種平均は+3.94%、ナスダック指数は+9.56%。米国株式は上昇しました。トランプ政権が関税引き上げ緩和の動きを見せたことから、市場の警戒感は和らぎました。米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長に対する解任要求についてトランプ大統領が否定したことも安心材料となりました。トランプ大統領が大規模な関税引き上げを発表してから米国株式市場は大幅な下げ基調となっていましたが、混乱は収まりを見せました。米国企業の決算は事前の市場予想を上回る発表が相次ぎました。関税の影響が懸念されていましたが、足元の企業業績は底堅い状況であることが確認されました。さらに、米国の雇用環境は就業者数が市場予想を上回る増加となり、米国経済の堅調さが示されました。
【欧州株式】MSCIヨーロッパ・インデックスの月間騰落率は+4.59%。月上旬は、米中貿易摩擦が緩和するとの期待感を背景に投資家心理が改善し、景気敏感株を中心に上昇しました。また、イングランド銀行（英中央銀行）による政策金利の引き下げや米英の貿易協定合意の発表などが好感されました。月中旬は、米中の相互関税の大幅引き下げが発表され、貿易摩擦懸念が後退し、市場は続伸しました。好調な業績を発表した銘柄に買いが入ったことや欧州中央銀行（ECB）の利下げ期待も市場の下支えになりました。月下旬は、ユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）の低下や独長期金利の上昇を受けて、下落しました。その後、トランプ米大統領がEUに対する関税措置の発動を延期すると表明したものの、米関税政策の先行き不透明感が根強く、一進一退の推移となりました。
【アジア株式】MSCI AC ファー・イースト・インデックス（除く日本）の月間騰落率は+4.52%。米国と中国が関税政策に関して予想外の歩み寄りを見せたことや中国人民銀行の金融緩和措置発表を受けて、株価は大きく上昇しました。
【日本株式】TOPIX（配当込）は+5.10%。当月の東京株式市場は、トランプ政権の関税政策に対する警戒感が和らいだことを背景に、前月に続き上昇しました。
米国が英国と貿易協定を締結し、中国とは相互追加関税の引き下げに合意するなど、米関税政策が緩和方向に進展するとの期待が高まったことに加え、日米の金融政策が現状維持となったことや、主要企業の2024年度決算発表で自社株買いの設定が相次いだことも押し上げ要因となり、日本株は月半ばまで堅調に推移しました。その後は、米国債の格下げによる財政悪化懸念から米長期金利が上昇し、円高・ドル安が進行したことや、利益確定売りが重なり上値を抑えられる展開となりました。しかし為替が円安に転じたことや、米国が欧州連合（EU）に対する追加関税の発動を延期したことを受けて株価は再び上昇すると、米国際貿易裁判所がトランプ関税の大部分を違法と判断したことや、米半導体大手の好決算なども支援材料となって上値を広げました。ただし、米連邦巡回区控訴裁判所が米国際貿易裁判所の判決執行を一時的に停止する判断を下したことから、最終日は反落し、月の上昇幅をやや縮めて月を終えました。
【為替】米ドル／円相場は、約1.16%の円安（1米ドル＝142.64円→144.3円）。
ユーロ／円相場は、約1.03%の円安（1ユーロ＝162.15円→163.81円）。
（※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。）

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンド、およびベンチマークの動向と異なる場合があります。

純資産総額	2.3 億円	（2025年5月30日現在）

組入上位10銘柄（マザーファンド・ベース）　（2025年4月30日現在）

	銘 柄	国・地域※	業 種	比率
1	マイクロソフト	アメリカ	ソフトウェア・サービス	7.7%
2	ラムリサーチ	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.3%
3	アンシス	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.0%
4	ブロードコム	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.8%
5	インテュイット	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.8%
6	メタ・プラットフォームズ	アメリカ	メディア・娯楽	3.7%
7	アドビ	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.6%
8	アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	3.2%
9	エヌビディア	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.1%
10	エアバス	オランダ	資本財	2.4%

（ 組入銘柄数 ： 75 ）　上位10銘柄合計　42.7%
（対純資産総額比率）

※発行国・地域を表示しています。
※上記銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。
実際の発行体名と異なる場合があります。

ポートフォリオの状況（マザーファンド・ベース）　（2025年4月30日現在）

資産別組入状況

株式（実質）		97.8%
	うち現物	97.8%
	うち先物	−
投資信託・投資証券		−
現金・その他		2.2%

組入上位5業種

ソフトウェア・サービス	24.1%
半導体・半導体製造装置	18.7%
金融サービス	13.8%
メディア・娯楽	6.8%
資本財	6.4%

組入上位5ヶ国・地域

アメリカ	79.4%
オランダ	4.7%
フランス	3.0%
イギリス	2.3%
ドイツ	1.9%

※国・地域は発行国・地域を表示しています。
（対純資産総額比率）

＊ 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊ 業種はMSCI/S&P GICS※に準じて表示しています。
※MSCI/S&P GICSとは、スタンダード&プアーズがMSCI Inc.と共同で作成した世界産業分類基準（Global Industry Classification Standard =GICS）です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界債券ファンド KA

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバル・ソブリン・オープン VA（適格機関投資家専用）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

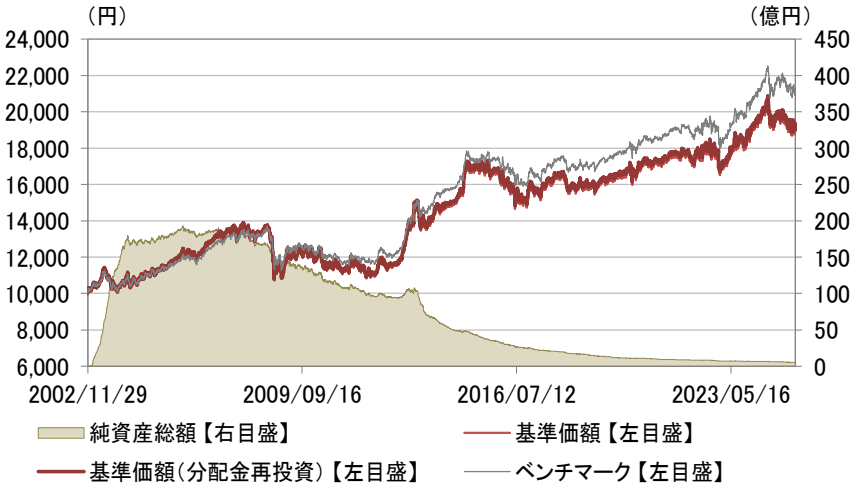
主要投資対象

日本を含む世界各国のソブリン債券（各国政府や政府機関が発行する債券）。主にグローバル・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に世界主要国のソブリン債券に分散投資し、FTSE世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）を中長期的に上回る投資成果をあげることをめざします。

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）です。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	19,046円
前月末比	+47円
純資産総額	5.13億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第23期	2025/02/17	0円
第22期	2024/02/19	0円
第21期	2023/02/17	0円
第20期	2022/02/17	0円
第19期	2021/02/17	0円
第18期	2020/02/17	0円
設定来累計		130円

■資産構成

	比率
債券	97.4%
内　現物	97.4%
内　先物	0.0%
コールローン他	2.6%

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.2%	−0.6%	−1.9%	−3.9%	8.9%	92.5%
ベンチマーク	0.7%	−0.4%	−1.6%	−1.7%	11.9%	112.3%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■ポートフォリオ特性

	当月末	ベンチマーク
最終利回り	3.9%	3.1%
デュレーション	7.3	6.9
平均残存年数	9.8年	9.5年

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 103銘柄

	銘柄	通貨	クーポン	残存年数	比率
1	アメリカ国債	米ドル	3.1250%	19.2年	3.8%
2	スペイン国債	ユーロ	3.5500%	8.4年	2.9%
3	アメリカ国債	米ドル	4.1250%	28.2年	2.9%
4	フランス国債	ユーロ	2.7500%	4.7年	2.8%
5	アメリカ国債	米ドル	4.2500%	2.6年	2.8%
6	アメリカ国債	米ドル	4.0000%	4.2年	2.7%
7	アメリカ国債	米ドル	4.1250%	5.3年	2.7%
8	アメリカ国債	米ドル	4.0000%	4.4年	2.7%
9	アメリカ国債	米ドル	4.1250%	7.5年	2.7%
10	アメリカ国債	米ドル	3.8750%	8.2年	2.6%

■組入通貨

	通貨	比率
1	米ドル	43.6%
2	ユーロ	27.3%
3	英ポンド	6.1%
4	日本円	5.8%
	その他	17.2%

・為替予約等を含めた実質的な比率です。

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
3年未満	16.4%
3～5年	18.9%
5～7年	8.4%
7～10年	29.0%
10年以上	27.3%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・騰落率は年率換算していません。ベンチマークは基準価額との関連を考慮して、前営業日の値を用いています。・FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。・上記のベンチマークは、FTSE世界国債インデックス・データ（出所:Bloomberg）に基づき、設定日（2002年11月29日）の値を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指数化し計算したものです。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。